

土地利用型作物と高収益作物に取り組む地域のモデルとなる大規模経営体 ～農事組合法人 あいさいの里～

経営体の概要

事業実施前：平成23年
基幹作物：水稻、小麦、大豆、
アスパラガス、キャベツ、たまねぎ
経営面積：38.0ha

現在：令和5年
基幹作物：水稻、小麦、大豆、
アスパラガス、キャベツ、たまねぎ
経営面積：53.0ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 狭小不整形かつ排水条件が悪くほ場も分散しており、非効率な営農条件。
- 農業機械が入れないような農地を中心に耕作放棄地が増加。



【現在】

- 国営南周防土地改良事業（平成23年～）により、大区画・整形・汎用化された水田が整備されたことで、作業効率が向上し、営農条件が大幅に改善。
- 換地を通じて、分散錯圃が解消し集積・集約が進んだことで、経営規模の拡大が可能となった。



営農改善、経営転換等のポイント

①事業を契機とした経営規模の拡大と高収益作物の生産拡大

平成16年に「農事組合法人 あいさいの里」を設立し、土地利用型作物を中心に野菜類の栽培にも取り組む中、国営事業で農地が大区画・汎用化されたことに加え、換地により農地が集積・集約されたことを契機に経営規模を拡大し、大里・日積団地の農地を一手に担う経営体となった。経営規模の拡大にあわせて、トラクターや汎用コンバインなどの大型農業機械、たまねぎの移植機や乗用ピッカー、アスパラガスの自走式防除機等の導入により効率的な機械体系を確立した。

また、効率化により余力ができたことで、たまねぎやアスパラガスなどの高収益作物の栽培面積の拡大が可能となり、収益性の高い農業経営を実現し、大規模経営のモデルとなっている。

②流通・販売の工夫

農産物は、系統出荷のほか、近隣の直売所「ふれあいどころ437」にも出荷するとともに、併設されている農家レストランへも出荷するなど、地元産野菜のPRや地域活性化にも貢献している。

③女性の活躍と雇用機会の確保

女性専用トイレや更衣室の設置など、女性の就業環境の改善に取り組みながら、地域の女性を積極的に雇用し、労働力を確保している。現在では、従業員の約半数を女性が占めるまでになり、特にアスパラガス栽培では中心的な役割を担うなど、女性の活躍の場と雇用機会の創出に貢献している。



たまねぎ栽培状況



アスパラガス団地と自走式防除機による防除



女性の活躍（アスパラガス作業）

事業概要

事業種：国営緊急農地再編整備事業
関係市町：山口県光市、柳井市、
熊毛郡田布施町
受益面積：577ha
事業期間：平成23年～令和9年
事業目的：区画整理、排水改良 等
主要工事：区画整理 390ha、農業用排水 36ha、
暗渠排水 182ha

位置図



＜問い合わせ先＞
中国四国農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係
電話：086-224-4511
(内線：2562)

(令和5年度調査時点)